

2016年3月24日

横浜市立青葉台中学校学校だより自由と規律-3月年度末号

Tel 983-1062 Fax 983-7103

E-mail: y2aobada@edu.city.yokohama.jp

発行者: 青葉台中学校 校長 脇山 幸之

いよいよ、これが2015年度最終号。楽しんでいただけたでしょうか?少しでも足しになりましたでしょうか?どうも、お読みいただきありがとうございました。

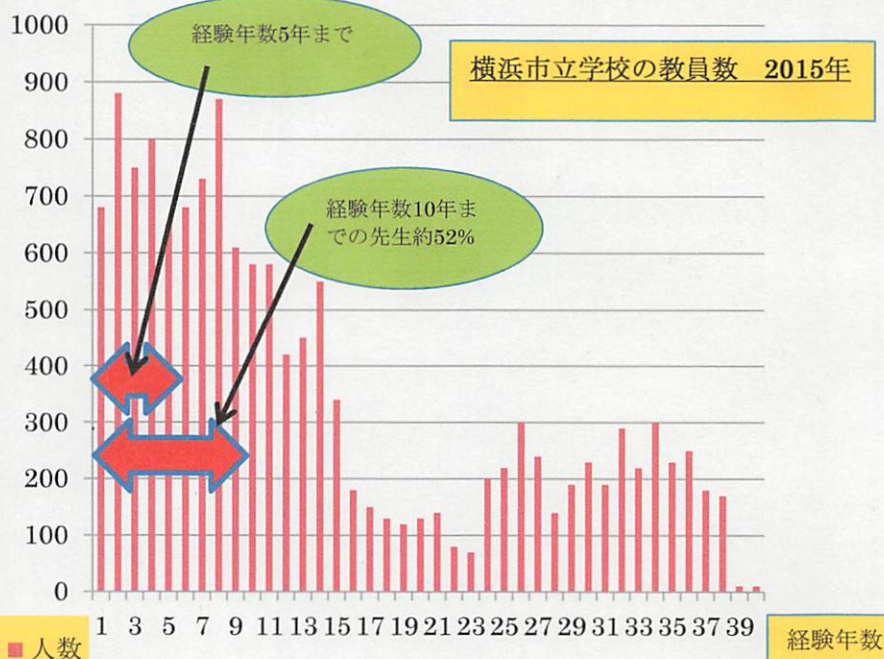
1, 2年生のみなさん、進級おめでとう。新年度も楽しく、充実した生活を目指しましょう。その時できなかったことでも、不思議と1年成長すると何もやっていないのに、わかる、できるようになることがあります。皆さんは経験されたことはないでしょうか?ただし、努力を継続しているということが条件になるかもしれません。あんなに思い悩んだことが、ある時突然解決するということがありますか?理由はともかく、1年進んでそういうことが一つでもあればいいですね。いつもの言葉、「けじめと集中」を実践してください。

話をごろっと変わりますが、3月は11日のとでもつらい出来事を思い出さなければならない月です。それは東日本大震災です。(もちろん阪神淡路大震災の1月17日もですが。)今の時期は2週間遅れています。この大震災のもたらした意味について、改めて考えてみましょう。フランスの作家アンドレ・ジイドの「毎日平凡な事を、平凡に行うことは、非凡である」という言葉をご紹介します。この言葉なんとなく理解しにくいですが、誠実な毎日を送ることのむずかしさを意味していると思います。が、「一見平凡に見える毎日が、実はかけがえのない時間」ということを示しているのではないのでしょうか?よく見てください。青い空、春になると毎年咲く満開の桜、これらは、かけがえのない時間です。そして雨の日も、風の日も、非常に暑い日も、すごい雪の日も、同様にかけがえのない日々なのです。

みなさんの約15年の生活は、一見平凡なものに見えていても、実はかけがえのない生活であったのです。そして、この幸福は、みんなのお父さん、お母さん、保護者の方は勿論、友達など多くの人々の支えによって実現しているものです。だから、我々は、幸福であることへの責任があるのです。大震災を振り返り、改めてかけがえのない存在として、家族、友人を大切にすること。そして、毎日毎日を真剣に、誠実に生きる事が求められています。そして、平凡に思える毎日が、実はかけがえのない幸福である事を改めて実感していただきたいと共に、自分の幸福を自分だけのものにしてしまうことのないようお願いしたい。こんなことを毎年この時期になると考えて実践してほしいと思います。ストリートスマートなら、こういうことが日常で普通にできるのだと思います。

○このコーナーではいろんな数字(データ)を記載、その数字を見て考えていただきたいのです。さーどうしましょうか?

今回は、日本の労働人口分布のゆがみについて。全国的に、そして教育の分野だけでない現象ですが、40歳近辺の人材が足りなくなっています。横浜でも同じ現象が起こっており、それは、教員の年齢の二分化となって表れています。右の図は横浜の教員の経験年数の分布表です。つまり現在52%程度の先生は経験年数10年以下ということを示しています。また、5年以内の先生は27%程度です。そして15年以上、25年の経験をお持ちの40歳代の先生が極端に少ないことを示しています。だから、中堅となって組織を動かす人が少ないということです。また、今までの経験を伝達し、次世代に伝える人が少ないということです。それだけに経験の少ない人たちに早くにチャレンジをしてもらい、どんどん重要な役割を務めていただかなければならない。そして、経験の少ない人たちには、十分な研修をつんできめ細かい相談ができる体制づくりが必要です。みんなで協力して育てていきましょう。



3年生 14日の卒業式で立派に飛び立ちました。1, 2年生の準備、応援ありがとう。

2年生1年生の、予行演習での素晴らしい盛り上げもあり、本番もすばらしい厳かな卒業式とすることができました。細かいことから様々な準備を行った、2, 1年生に感謝します。自分たちが卒業するときにはみんなの後輩が続いて盛り上げてくれます、きっと。世の中ではいたるところで、こういうサイクルが存在し支えています。きっとみんなの努力が実るのは、自分たちの卒業の時で、【やってよかったー】となると思います。こんなサイクルがいつも存在して世の中が回っているんだと考えてください。新3年生は学校の最高学年としての自覚を持ち、新2年生は、学校の中核として、次年度もしっかり学校生活を有意義に送りましょう。

*** 生徒会の活動 (敬称略)**

*臨時生徒総会が17日開催されました。次年度から、本部の役員の選挙規定を変更することを議論し決議しました。現行制度の欠点である、「場合により、落選者がいるのに合わせて欠員が出るという弊害」をなくそうとするためのものです。より幅の広い活動を一人でも多くの人で運営されるので、とても楽しみです。

*** PTA、部活動振興会 の活動**

PTA: スローガン: 青中に行こう! 知ろう! 楽しもう! 子どもの笑顔のために!

*PTA 広報卒業・進級記念号が発行されました。

各クラスの様子がよくわかります。また、担任によるキャッチフレーズ(?)も個性豊かで様々です。

*17日、会計監査が行われました。

1年間の活動ありがとうございました。新年度もよろしくお願いいたします。

部活動振興会: スローガン: 自分を信じて、仲間を信じて、夢に向かって突き進め!

*中学生にとってとても重要な活動の一つである部活動。役員さんから、特に村山会長から、「親として参加して一緒に子どもたちと、わくわくハラハラ、時々、笑い、また悔しがることを実践してとても有意義だった。」と感想をいただきました。GOOD!

こういう感想を持てることが、PTAや部活動振興会の醍醐味なのではないでしょうか?1年間、大変お世話になり学校も良い時間を持つことができました。ありがとうございました。新年度もよろしくお願いいたします。

*22日、会計監査が行われました。

新年度の予定表、新しい学年などの体制は4月号に掲載します。

